

様式第2号（第5条関係）

令和2年11月26日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 齊藤義崇



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和2年11月5日～令和2年11月6日
- 2 旅行先 東京都 アットビジネスセンター池袋駅前本館
- 3 目 的 人口減少時代における自治体議会の役割セミナー受講
自治体議会の危機管理セミナー受講
- 4 関係書類 別紙のとおり



議員・職員のための

新型コロナ禍・人口減少に 自治体議会としてどう立ち向かうか in 東京

オンラインによる
セミナーも
受講出来ます。

11月6日(金)10:00~13:00

人口減少時代における 自治体議会の役割

1. 深刻な人口減少社会・少子高齢化
2. 分権時代の自治体議会
3. 議会改革の動向と政策形成
4. 自治体議会と首長
5. 深刻な「なり手不足」と議員報酬・定数
6. 自治体議会と住民参加
7. これからの自治体議会

11月6日(金)14:00~17:00

自治体議会の危機管理 ～新型コロナ禍等への対応～

1. 頻発する激甚災害と地域社会
2. 東日本大震災と自治体議会
3. 危機管理政策の構築に
向けた議会の役割
4. 議会が果たす災害時の役割
5. 議会BCPの策定と課題
6. 新型コロナ対策と自治体議会
7. 災害時だから求められる
議会の役割を問い直す



講師 牛山 久仁彦【明治大学政治経済学部教授】

中央大学法学部法律学科卒業、明治大学大学院、明治大学助教授等を経て、2006年より現職。専門は、行政学、地方自治論。中央大学法学部・日本大学法学部・日本女子大学人間社会学部兼任講師、日本学術会議連携会員、日本政治学会理事、日本行政学会理事、日本地方自治学会理事。神奈川県総合計画審議会副会長、東京都中野区区民公益活動推進委員会委員長、愛知県岡崎市市民協働推進委員会委員長、茨城県境町戦略会議委員長なども務める。編著書に、『自治・分権と地域行政』（近刊）『自治体議会の課題と争点』、『広域行政と自治体経営』など。

(株)地方議会総合研究所

お申込みはホームページ からお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<https://www.gikaisoken.jp>

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

参加されるセミナーのチェックボックスに
☒ をお願いいたします。

フリガナ	サイ トウ ヨシ タカ
お名前	齊藤 義崇
貴議会名	栗山町議会
領収書 お宛名	齊藤 義崇
ご住所	(〒069-1512) 北海道夕張郡栗山町 松風3丁目252番地
TEL	(0123) 73 - 7517
FAX	(0123) 72 - 1233
E-mail	gikai- jimukyoku@hokkaido.jp



11月6日(金)10:00~13:00 東京

人口減少時代における自治体議会の役割



11月6日(金)14:00~17:00 東京

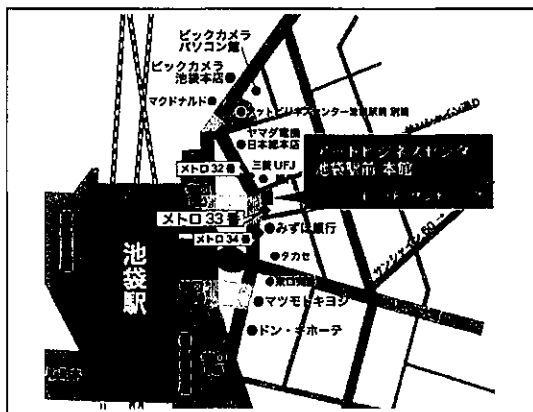
自治体議会の危機管理
～新型コロナ禍等への対応～

※オンラインによる受講をご希望される方は、
チェックボックスに☒をお願いいたします。

☐ オンライン受講

※オンライン受講ご希望の方は必ずE-mailをご記入下さい。

受講料は受講確認書到着後、事前にお振込をお願いいたします。★キャンセルは7日前までにメール又はFAXにてご連絡下さい。
お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。受講確認書をご覧いただき、
事前に口座にお振込をお願いいたします。※ホームページでのお申込の方がスムーズにご対応できます。



会場—アットビジネスセンター池袋駅前本館
501号室

受講料

各講座 15,000円(税込)

2講座受講 25,000円(税込)
(連続した講座に限る)

開催場所

アットビジネスセンター池袋駅前本館

JR山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線

地下鉄丸の内線/有楽町線/副都心線

池袋駅東口地下鉄32番出口 徒歩10秒

お問い合わせ・事務局

※各会場の詳細地図は、当研究所ホームページのセミナー会場に掲載しておりますのでご覧下さい。

(株)地方議会総合研究所

〒112-0011 東京都文京区千石2-34-6 TEL 03-6912-1930 FAX 03-6912-2280

日 時	令和2年11月6日 10:00~17:00
視 察 先	アットビジネスセンター池袋駅前本館（東京都豊島区池袋）
調査事項	「人口減少時代における自治体議会の役割」 「自治体議会の危機管理（新型コロナ禍等への対応）」
対 応 者	牛山久仁彦氏（明治大学政治経済学部教授）
1. 視察目的	栗山町は人口減少が進んでいるため、人口減少時代における議会の役割やその意義、議会の危機管理や、コロナ過での対応について、今後の議員活動に役立てるために本講座を受講した。
2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴	午前 【人口減少時代における自治体議会の役割】 1 地方分権の成果と自治体をめぐる環境変化 2 自治体議会の現状 3 議会改革の論点 4 議員の報酬と定数をめぐる状況 5 議会改革と住民参加 6 地方分権で問われる自治体議会の役割 講義内容は地方議会が抱える課題について論点整理と論拠がはっきりと理解できる内容であった。 午後 【自治体議会の危機管理（新型コロナ禍等への対応）】 1 二元代表制と自治体議会の役割 2 大規模災害の経験と自治体議会 3 自治体議会の危機管理と広域連合 4 議会 BCP とは 5 なぜ議会 BCP が必要なのか 6 議会 BCP 等の策定状況 7 議会 BCP の論点 以上7つの小テーマの順で講義を受けた。
3. 主な質疑	以上13の小テーマの順で講義を受け、栗山町議会で設置されている報酬と定数の特別委員会の審査に役立てるよう、その考え方や理論について、講師に3度質問をし、講師から回答を得た。

4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	1 人口減少時代における自治体議会の役割について 地方議会議員にも、住民の福祉増進のために、政策立案、監視監督、利害調整機能が強く求められている。 一方で住民の議会に対する視線は、依然として名誉職的意味合いで、役割を捉えている人が多く、議会改革推進においては、種々の課題を整理し論点とその根拠を、議会報告会や普段の個々の議員の政治活動で、訴えかけながら、情報交換をする必要がある。 特に定数削減、報酬削減の傾向は強い。その中でもなり手不足については、講義を受けながらも、現行の法制度では決定的な解決策はと感じる。講師が提唱するように、根気よく住民との相互理解を深め、議会活動、議員の政治活動、その重要性を伝えていくしかない。 栗山町においては、議会モニター・サポーター制度に代表される、住民参加の機会が多いと感じるが、今後はより工夫を凝らして、地方議会の重要性、行政執行に対して意見を唱えることの重要性を訴える広報広聴活動が求められると講義を通じて感じた。 私は「開かれた議会」「結果の出せる議会」そして「信頼される議会」を目指すことが肝要であると思う。この講義を受けながら、人口減少が進み、歳出増大する栗山町でも、より多くの町民が共感できる行政サービスを実現するためには、地方議会議員が頑張らなくてはいけないと感じた。 2 自治体議会の危機管理（新型コロナ禍等への対応） 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行で、我々議員の活動も大きく制限をされている。住民との接する機会が減り、特に町が行う政策の妥当性や有効性について、集団意見を聞くことができなくなった。 BCP とは業務継続計画のことである。栗山町でも災害時に適切な議会活動とその業務執行が行えるよう策定される。 こ講義から、現在執行されている施策がどうあるべきかを考えるため、コロナ過でも住民と意見交換ができるようＩＣＴ等の活用が急務であると感じた。行動制限の伴う災害や被害の大きい疾病の蔓延時などは特に重要である。 この講義を活かすため、今後は栗山町においても、ＢＣＰに加え、近隣自治体との連携強化、議会防災計画や訓練の実施、災害克服のためのノウハウ等取得のための研修を取り組み、ＩＣＴの利活用が必要不可欠であることから、その体制構築を急がねばならないと感じた。
---------------------------------------	---